

ル・コルビュジェ「カップ・マルタンの休暇小屋」模型制作

八代研究室

00712004 阿部祥吾

1. はじめに

ものづくり大学では 2011 年夏に、ル・コルビュジェの「カップ・マルタンの休暇小屋」の原寸レプリカを大学構内に制作する。その第一歩として、本制作では、2011 年 2-3 月の現地調査に先立ち、実測時の問題点や確認事項を事前に洗い出すことを目的として、図面を整理し 1/5 模型を制作する。

2. カップ・マルタンの休暇小屋について

ル・コルビュジェ(1887~1965)は 1965 年 8 月 27 日、南仏コート・ダ・ジュールの東端、イタリアの国境にほど近いカップ・マルタンで海水浴中に心臓発作を起こし、78 歳で亡くなった。カップ・マルタンの休暇小屋は 1952 年 8 月コルビュジェが 65 歳のとき、わずか 8 畳ほどの面積に最小限寸法という建築テーマのもと設計完成したヴァカンス用の小さな別荘である。

3. 参考資料

本制作は以下の文献を参考資料とした。

〈資料 I〉主に図面及び建設経緯を参考にした。

ブルノ・カンブレト(中村好文監修、石川さなえ・青山マミ共訳):ル・コルビュジェ カップ・マルタンの休暇 TOTO 出版 1997

〈資料 II〉主に家具の寸法を参考にした。

中村好文:住宅巡礼 新潮社 pp137-152 2000

〈資料 III〉この写真集で資料 I、II の細部を確認した。

MAGDI SENADJI: *Le Cabanon Le Corbusier* MARVAL 1994

4. 制作手順

4-1 図面作成(図 1 及び 表 1)

資料 I、II、III から寸法を拾い、平・立・断面図を作成する。その際出てきた不明点を表にまとめ、模型制作に向け、解決策を検討した。

4-2 模型の仮制作(図 2)

表 1 の不明点を考慮し、段ボールで 1/5 仮模型を制作した。休暇小屋は家具を含めコルビュジェがモデュロールを基に設計したものでありいわば彼の身体の身近な延長空間と考え、1/5 という家具模型のスケールで全体を制作した。

4-3 模型本制作(図 4)

表 1 で挙げた解決策を基に模型本制作に入る。

①使用材料:

材料は実物が内装外装ともに木を基調としているため、合板、その他木材を使用。部材切り出しには高い精度が得られる NC ルーターを使用する。また、廃材を出さないよう、使用する合板の厚さに合わせ切り出し(図 4-1)のレイアウトを徹底する。

②仮組み:

切り出した部材を組み立てるために、紙ヤスリ、ノミを使用し調整を繰り返し組み立てる(図 4-2~4)。

③仕上げ:

組立て後、表面を紙ヤスリで整え、糸面を落とす。仕上げには合板の木目をそのまま生かしたかったため、オイルフィニッシュで仕上げる。

④外壁:

外壁は丸太の半割りを仕上げ材としているので、模型では合板の小口を外壁面とし、実物の丸太のラインを表現した、それにより全体の材料が合板で制作されたことを強調する(図 4-5~6)。

⑤完成(図 5)

この写真は南側の 2 立面と天井及び屋根を取り外したもので内観と天井及び屋根を実物と同じように木を基調とした内観になっている。

5. おわりに

1/5 スケールの模型を制作することにより、現地に赴く前に実物に近いスケール感が得られ、建物がイメージしやすく実測するための問題整理ができた。

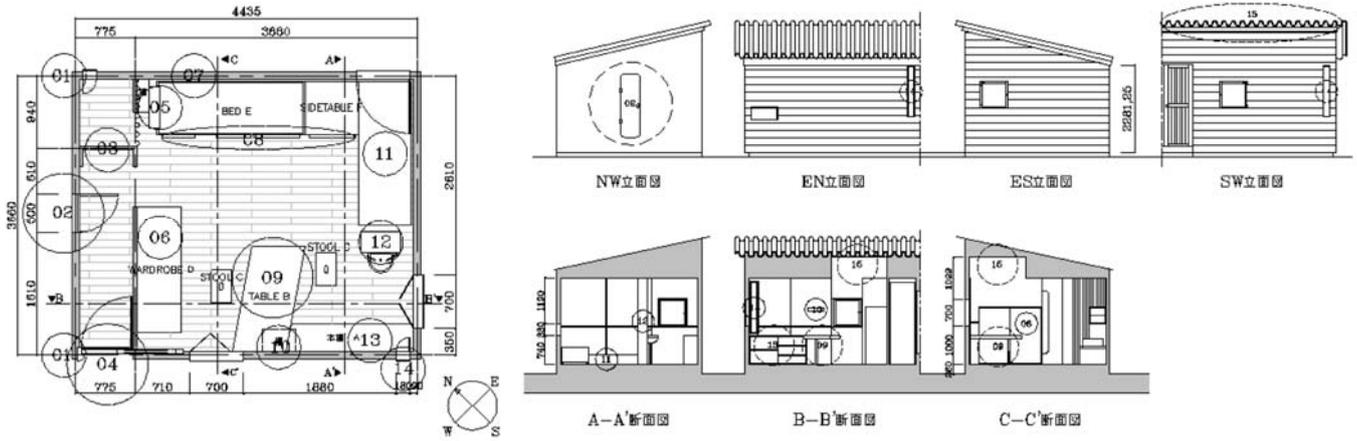


図1：カップ・マルタンの休暇小屋 平・立・断面図

表1： 図面制作時の問題点及び解決策

図面制作時点での問題点、不明点 (番号は図1の平面図参照)	資料Ⅰ	資料Ⅱ	資料Ⅲ	模型制作における解決方法
01 ひとで軒との外壁のつながり	記入無し	記入無し	写真無し	01 全ての資料に表記が無いため壁のみ制作
02 ひとで軒との出入り口部分詳細	平面図上のみで表記	スケッチのみ詳細不明	〃	02 形状寸法の明確な表記が無いため制作しない
03 「服掛け」PEG部分詳細	記入無し	〃	写真有り	03 写真をもとに寸法を拾い制作
04 入口詳細(資料ⅠとⅡでは異なる)	「片引き戸のみ」の表記	「片引き戸と片開き網戸」で表記	写真無し	04 詳細不明のため制作しない
05 「BED E」ヘッドレスト詳細	記入無し	スケッチのみ詳細不明	写真有り	05 資料Ⅲをもとにバルサ材を削り制作
06 「WARDROBE D」内部詳細	〃	〃	〃	06 資料Ⅲから寸法を拾い制作
07 「トイレットベイパー形 NIGHTLAMP」形状	〃	〃	〃	07 資料Ⅲには載っているが形状が複雑なため制作しない
08 「BED E」「SIDETABLE F」手掛け部分詳細	〃	〃	〃	08 資料Ⅱ、Ⅲをもとに制作
09 「TABLE B」寄せ木模様寸法、脚詳細	〃	〃	〃	09 寄せ木模様は資料が無いので制作しないが、脚は資料Ⅲをもとに制作
10 接置場所詳細	〃	〃	〃	10 資料Ⅰ資料Ⅱをもとに制作
11 資料Ⅰには「ベッド」とあるが不明	平面図、断面図上での表記のみ、詳細不明	平面図上のみで表記	写真無し	11 明確な形状が把握できないため制作しない
12 サニタリー柱形状	記入無し	スケッチのみ詳細不明	写真有り	12 資料Ⅲから寸法を拾い制作
13 「本棚 A」形状詳細	〃	〃	〃	13 資料Ⅱ、Ⅲをもとに制作
14 縦長窓寸法詳細	〃	〃	〃	14 資料Ⅰをもとに制作
15 石綿スレート屋根、寸法詳細	〃	記入無し	写真無し	15 内部の詳細が見えなくなるため、制作しない
16 天井部分置空間スペース詳細	〃	記入無し	〃	16 明確な形状が把握できないため制作しない

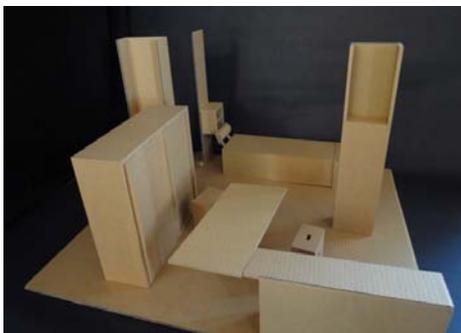


図2：ダンボールでの模型仮制作

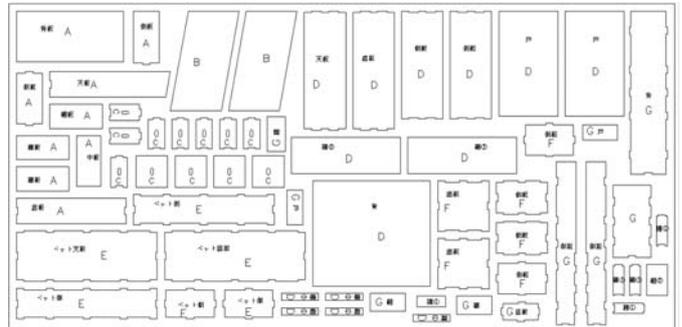


図3：NCルーター部材取り(家具部分)



図4-1：部材切り出し 図4-2：仮組み 図4-3：はめ込み部



図4-4：家具組み立て 図4-5：外壁材切り出し 図4-6：外壁組み立て

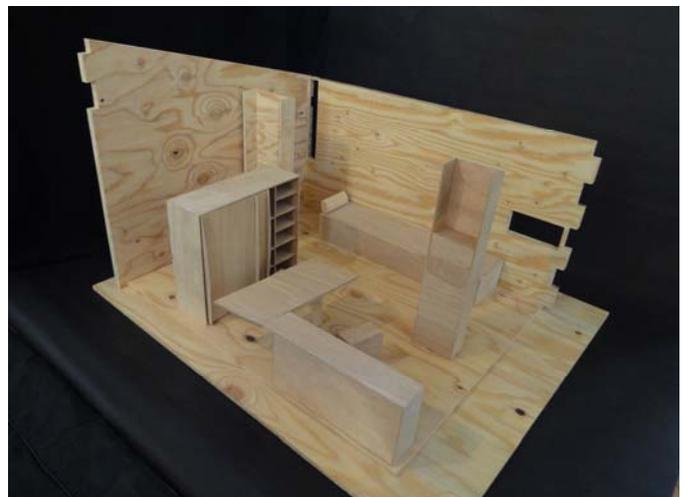


図5：完成写真

図4：模型本制作